

《平成27年度 上下水道部 組織目標の達成状況》

◆目標管理者

部長	西岡 善和
理事	西村 新朗

1. 現状認識
(重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)

【上下水道事業を取り巻く環境】
節水型社会の浸透により使用料収入の大幅な伸びは期待できない状況です。

<水道事業(経営)>
平成23年度～平成33年度の水道事業経営計画に基づき事業展開を図っていますが、経営計画策定から今日までの実績を踏まえ、計画の中間見直しを行う必要があります。
計画見直しにあたっては、事業開始から50年が経過し耐用年数の過ぎた老朽水道管の更新を順次行う必要があることや、震災等に備えライフラインとしての上水道の機能確保を考慮した整備・改修を行う必要があります。このような整備事業を行う必要があることを踏まえ、平成23年度から平成27年度まで行っている水道料金10%還元の今後の扱いなど事業経営を検討していく必要があります。

<下水道事業(経営)>
企業債残高は250億円を上回っており、下水道使用料のみによる経営は困難な状況であることから、ルールを決めた中で一般会計からの繰入により経営を行っています。一方、公共下水道事業着手から40年以上が経過し、新規投資については減少傾向にあります。
今後は、老朽化する施設の更新や維持管理を行うとともに、長寿命化や耐震化に備えた整備を行う維持管理の時代へと転換していく必要があります。
事業の推進と費用負担のバランスに配慮した、安定的な経営を行うことが求められています。

2. 重点目標

安心・安全な水を届ける上水道事業や、快適な生活と環境を守る下水道事業を、安定してご利用いただけるよう事業を計画的に進めると同時に、公営企業として、経営による収入により安定的な健全経営を継続して行います。

① 水道事業 :平成27年3月～平成28年1月
水道ビジョンの中間見直し
経営計画中間見直しの実施

下水道事業:平成27年度下期～平成29年1月
第8期経営計画の策定

3. 目標達成のための取り組みと成果目標

【取り組み】
水道事業および下水道事業について、今日までの実績と今後の事業計画を盛り込んだ上で、中長期的なシミュレーションのもと、事業展開の目標の設定や、財源確保の考え方を示した経営戦略を含めた中期経営計画を策定する中で、水道料金および下水道使用料の適正化を図る必要があります。

① **【成果目標】**
今日までの分析と今後の展開に向けての検討を進め、今後の経営戦略を含めたビジョンや経営計画の見直しを行います。

上下水道事業運営委員会の開催 3回

4. 課題解決に向けた平成27年度の具体的な取り組み【年度末実績】

【取り組み実績】
水道事業については、今日までの実績と今後の事業計画および水需要の予測を行ったうえで、水道ビジョンの中間見直しを行うとともに、20年間のシミュレーションを行い中長期的な視点のもと、6年間の水道事業経営計画を見直し、水道料金10%還元の継続を決定しました。
また、20年間の財政収支計画と経営の方針について総務省通知を参考に「経営戦略」としてとりまとめました。

① 下水道事業については、下水道使用料の適正化を含めた下水道事業第8期経営計画の策定に向け準備を行いました。

【成果目標実績】
・水道ビジョンおよび水道事業経営計画の審議
上下水道事業運営委員会の開催 3回

・下水道事業第8期経営計画の策定に向けての諮問・審議
上下水道事業運営委員会の開催 1回

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取り組みと成果目標	4. 課題解決に向けた平成27年度の具体的な取り組み 【年度末実績】
<p><水道事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年、日本各地において多大な被害が生じる地震が度々発生しており、その中でも平成23年に発生した東日本大震災では、水道を含む社会基盤施設において甚大な被害が生じており、大地震の発生に備え、災害に強い浄水場等のライフラインの確立が求められています。 ・昭和39年に一部給水開始した上水道施設(取水・導水・送水・配水等)の老朽化が進み、大量更新時期を迎えています。 ・草津市水道ビジョンにおいて「いつでもどこでも水を届ける。」という目標を掲げ、事故・災害対策を施策として位置づけています。 	<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道ビジョンでは法定耐用年数40年を経過した管の一律更新を目標値としておりましたが、平成23年度に策定した管路整備更新基本計画に基づき「基幹管路である中大口径管、医療拠点および災害対策拠点、避難所に至る管」の更新を優先的に進めます。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浄水場の計画的な耐震整備を進めます。既存の浄水施設を耐震化するには、施設を一部停止しての工事となるため、浄水供給に支障が無いよう水運用等を考慮して事業を進めます。 また、老朽化が進んだ浄水施設について、長期計画に基づき設備更新を行います。 平成26年度に完成した西矢倉加圧ポンプ場(ロクハ・北山田2系統連絡管設備)の運用方法を定め、効率の良い運転に取り組みます。 草津市水道ビジョンで掲げたロクハ浄水施設耐震率100%、ロクハ系配水池耐震設備率100%の目標達成に向けて事業を進めます。 	<p>②</p> <p>【取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管路整備更新基本計画に基づき、中大口径管、医療・災害拠点に至る管を中心に更新を行ないます。(事業費 760,188千円) <p>【成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 配水管更新事業 配水管更新延長 3.8km <p>③</p> <p>【取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)災害時に消火用水・飲用水を確保するために、南笠高区配水池に緊急遮断弁を設置します。(事業費 34,549千円) (2)ロクハ浄水場の耐震診断により補強が必要となった薬品沈殿池、浄水池および活性炭吸着池について耐震補強工事を行います。(事業費 159,603千円) (3)浄水場長期改修計画に基づき、改修工事を実施します。(事業費 16,967千円) <p>【成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)南笠高区配水池緊急遮断弁設置事業 内槽流出管に緊急遮断弁を設置 平成27年度完了 (2)ロクハ浄水場耐震補強事業 (完成目標:平成32年3月) ロクハ浄水場旧館耐震補強工事(第2期) (H26度末進捗率 16%:H27度末旧館完了により21%) (3)北山田浄水場脱水機棟電気設備改修工事 	<p>②</p> <p>【取り組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中大口径管を中心に計画どおり整備更新を実施しました。 <p>【成果目標実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 配水管更新事業 配水管更新延長 4.5 km <p>③</p> <p>【取り組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)南笠高区配水池の2槽のうち1槽に緊急遮断弁を設置し、災害時には1槽分の水を確保できるようにしました。 (2)ロクハ浄水場旧館耐震補強工事(第2期)を計画どおり実施し、ロクハ浄水場旧館の耐震化が完了しました。 (3)北山田浄水場脱水機棟電気設備の改修工事を計画どおり実施し、当該工事は完了しました。 <p>【成果目標実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)南笠高区配水池緊急遮断弁設置工事を実施しました。 (2)ロクハ浄水場旧館耐震補強工事(第2期)を実施しました。(ロクハ浄水場耐震化率:21%) (3)北山田浄水場脱水機棟電気設備改修工事を実施しました。
<p><下水道事業(長寿命化、耐震化、農集排接続)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道の事業着手から40年以上が経過し、公共下水道施設の老朽化が懸念されます。 ・下水道施設の老朽化が進んでいることから、下水道の維持管理等にかかる費用は年々増大し、下水道経営に甚大な影響を及ぼしかねない状況にあります。 ・東日本大震災で得た教訓をもとに、下水道施設の耐震化の市民意識が高まっています。 ・大震災の発生に備え、災害に強いライフラインの確立が求められています。 ・市内6地区の農業集落排水施設、処理場が供用開始後18年から26年が経過し、施設の老朽化により維持管理費が増加しています。 	<p>④</p> <p>下水道施設ストックは膨大な量となり、経年変化による老朽化対策が必要となっています。このことから、適正な維持管理計画を策定し、予防保全型事業を進めます。</p> <p>また、下水道の維持管理等にかかる費用は年々増大し、下水道経営に甚大な影響を及ぼしかねない状況にあります。このことから、施設更新計画や維持管理計画(点検、調査、修繕等)を含む下水道全般(施設、人員、資金)にわたった計画(アセットマネジメント)を策定し、事業費の平準化をはじめ、計画的、効率的な事業実施に取り組みます。</p> <p>下水道長寿命化計画 平成25年度～平成29年度 下水道施設管理計画策定(アセットマネジメント) 平成27年度</p> <p>⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大震災など大規模災害に備え、下水道施設の防災および減災を図ります。 加えて、下水道BCP(業務継続計画)を策定し、地震や大雨などの大規模災害により人材や資材が大幅に制限されるような状況においても、重要な機能を優先的に回復するなど、速やかに下水道機能の確保を図り、安心して市民生活を続けていただけるよう取り組みます。 <p>下水道総合地震対策計画 平成25年度～平成29年度 下水道業務継続計画策定 平成27年度</p> <p>⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業集落排水施設6地区の公共下水道への接続に向け準備を進めます。 農業集落排水処理区域の公共下水道区域拡大に係る下水道事業計画変更を行い、接続に向けた取り組みとして、実施設計と土質調査を行います。 <p>農業集落排水公共下水道接続事業 平成25年度～平成32年度</p>	<p>④</p> <p>【取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道長寿命化計画に基づき、計画的な施設の改築と維持管理を行い、ライフサイクルコストの縮減を図ります。(事業費 266,600千円) ・資金計画、人材計画を踏まえた下水道施設の計画的かつ効率的な施設管理を行うため下水道施設管理計画(アセットマネジメント)を策定します。(事業費 16,000千円) <p>【成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道長寿命化対策工事の実施 ・下水道施設管理計画の策定 <p>⑤</p> <p>【取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道総合地震対策計画に基づき、下水道施設の防災対策および減災対策を行い、下水道の流下能力の確保や緊急輸送路の機能確保を図ります。(事業費 26,000千円) ・下水道独自の下水道業務継続計画(BCP)を策定し、バックアップ機能の強化に取り組みます。(事業費 15,000千円) <p>【成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道総合地震対策業務の実施 ・下水道業務継続計画の策定 <p>⑥</p> <p>【取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成31年度の公共下水道への接続に向け実施設計と土質調査を行います。(事業費58,000千円) <p>【成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業集落排水公共下水道接続実施設計業務の実施 ・農業集落排水公共下水道接続土質調査業務の実施 	<p>④</p> <p>【取り組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共下水道長寿命化計画に基づき、マンホール蓋の更新を実施しました。 また、下水道施設の計画的な管理を行うための下水道施設管理計画(アセットマネジメント)を策定しました。 <p>【成果目標実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道長寿命化対策工事を実施し、815カ所のマンホール蓋を更新しました。 ・下水道施設管理計画を策定しました。 <p>⑤</p> <p>【取り組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共下水道総合地震対策計画に基づき、重要な幹線に係る下水道施設の耐震診断を実施するとともに、大規模災害時にも速やかに下水道の機能確保を図ることを目指した下水道業務継続計画(BCP)を策定しました。 <p>【成果目標実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道総合地震対策業務において、延長9.0kmを対象として耐震診断を実施しました。 ・下水道業務継続計画を策定しました。 <p>⑥</p> <p>【取り組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業集落排水を公共下水道に接続するための実施設計と土質調査を実施しました。 <p>【成果目標実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施設計業務および土質調査業務を実施しました。